

V シカ等野生動物の保護管理

<主要施策の取組状況>

1 奥山域（シカ管理計画における自然植生回復エリア）でのシカ生息密度低減

- ① **重点** 奥山域におけるシカの管理捕獲（Ⅰ-2-①）
 - ・ Ⅰ-2-①に記載のとおり
- ② 植生保護柵等の効果的設置（Ⅰ-3-①、②、Ⅵ-2-①）
 - ・ Ⅰ-3-①、②に記載のとおり

2 山地域（シカ管理計画における生息環境管理エリア）での森林整備とシカ管理の連携

- ① **重点** 森林整備とシカ管理の連携（Ⅱ-2-①）
 - ・ Ⅱ-2-①に記載のとおり

3 里山域（シカ管理計画における被害防除対策エリア）での被害対策の推進

- ① シカの定着の解消のための捕獲（Ⅲ-1-①）
 - ・ Ⅲ-1-①に記載のとおり
- ② 地域が主体となった被害対策等の推進（Ⅲ-1-①）
 - ・ Ⅲ-1-①に記載のとおり

4 野生動物の保護管理手法の検討

- ① **FS** 野生動物の保護管理手法の検討（Ⅲ-1-①）
 - ・ 山静東神ニホンジカ・ニホンザル等情報交換会(山梨県、静岡県、東京都、神奈川県) [1回] を通じて、隣接都県と生息状況、被害状況、捕獲状況等についての情報交換や研究協力を行った。
 - ・ ニホンジカ保護管理検討委員会 [1回] において、ニホンジカの調査、モニタリング、管理手法について、科学的な視点で検討した。
 - ・ 森林整備等がシカの行動に与える影響を明らかにするため、森林整備地周辺で生体捕獲したシカへGPS首輪を装着し [新規4頭]、行動特性の調査などを行った結果、長期の滞在を伴う移動がなく一定地域にとどまり続ける個体と、季節に関係なく大きく移動し、一定期間移動先に滞在した後、元の場所に戻る個体が見られた。
 - ・ ニホンザル個体群の行動域の重複を解消し、追い上げなどの管理事業を効果的に進めるため、「第4次神奈川県ニホンザル管理計画」に沿って、群れ別に個体数調整の目標頭数等を定め、捕獲を実施した。
 - ・ 行動域が行政界をまたがるニホンザル個体群に対して、隣接市町村で連携を図りながら、追い上げや追い払い、捕獲などを実施した。
 - ・ 農地における電気柵の設置や誘因要因の除去のための放棄果樹の伐採などの地域の取組に対して技術的支援や鳥獣被害防止特別措置事業費補助※等による財政的

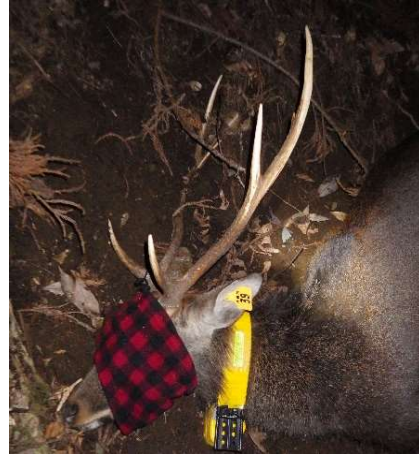
支援を行った。

※ 鳥獣被害防止特別措置事業費補助 鳥獣による農作物被害対策等の効果的な実施を図るため、団体（市町村協議会）が鳥獣被害防止総合対策交付金実施要綱に基づいて行う事業に要する経費に対し、交付金を交付する。

○ワイルドライフレンジャーによる管理捕獲の様子
[伊勢原市大山地区内]



○行動追跡調査のため GPS を装着したシカの個体



○事業実施位置図（位置情報のある事業のみ掲載）

